



Japan Environment Association

JEA NEWS

財団法人 日本環境協会

ニュースレター No.34 2005年2月1日発行



土壌汚染対策セミナーを開催



2004.11.25 於 経団連ホール



2004年11月25日、環境省・当協会主催による、土壌汚染対策セミナーを開催しました。
会場を埋めつくす聴衆に土壌汚染対策に対する関心の高さが伺えました。

(関連記事は4ページ)

JEA NEWS No.34 目次

| | | | |
|----------------------|---|-----------------------|---|
| エコマーク | 2 | 我が家の環境大臣 | 7 |
| 世界エコラベリングネットワーク(GEN) | 3 | スターウォッチング・ネットワーク | 7 |
| グリーン購入ネットワーク(GPN) | 3 | 藤本倫子環境保全活動助成基金 | 7 |
| 土壌対策基金事業 | 4 | 地球環境パートナーシッププラザ(GEIC) | 7 |
| こどもエコクラブ | 5 | 環境カウンセラー | 8 |
| 全国地球温暖化防止活動推進センター | 6 | こども環境相談室 | 8 |

各事業のホームページは、協会トップページ <http://www.jeas.or.jp> から入ることができます。



エコマーク

ご存じですか？ シンボルマークとしてのエコマーク使用に関する「使用者登録」について

当協会では、政府機関や地方自治体を対象に「**使用者登録制度**」を用意しています。これは、使用者名をご登録いただく（事前審査あり）ことで、一定の条件のもとでエコマークが使用できるというものです。制度の詳細については、以下のとおりです。エコマーク事務局ホームページでも公表しています。

| | |
|-----------|--|
| 使用できる対象物 | 政府機関や地方自治体が自ら使用する無償配布の印刷物で、「環境保全」に関連したもの。 |
| 審査料および使用料 | 無 料 |
| 登録の条件 | ご登録にあたっては、以下の ~ の項目をすべて満たすこと。 登録後、おおむね2カ月に1回以上マークを使用（予定可）すること。 過去6カ月間にマーク使用実績があり、かつ適正にマークを使用していること。 窓口を特定部署（または担当者）に限定し、かつ同部署（または同担当者）がマーク使用に関し、別途定める要請事項に基づく適正な指導・管理を常時行うこと。 |
| 登録期間 | 2年間（再申し込みによる更新可） |
| 使用上の注意 | エコマークの不正使用が発覚した場合、登録抹消またはマーク使用を停止することがある。 |
| その他 | エコマークのホームページ「使用登録状況一覧」で公表。 |

【お 知 ら せ】

第2回 環境&福祉ビジネスフェア in Kumamoto

エコマークも出展していますので、近くの方は、お気軽にお越しください。

日時：2月4日（金）～6日（日）午前10時～午後5時

会場：グランメッセ熊本（熊本県上益城郡益城町福富1010）

主催：「環境&福祉ビジネスフェア in Kumamoto」実行委員会

〔数字で見るエコマーク〕

商品類型：45 取得企業：1765

認定商品：5,074

（2004年12月末現在）

新制定の認定基準：

「土木製品Version1.0」

（2005年1月15日制定）

エコマーク旬の話題

環境配慮型の包装紙で、あなたの思いを伝えてみませんか？

やさしさいっぱい、エコマーク認定の包装紙

バレンタインデーやホワイトデーのシーズンですね。チョコレートやクッキーといった中身選びもさることながら、ラッピング用の包装紙選びも重要なアイテム。どれにしようかと悩んでしまうくらい、店頭にはいろいろな種類の包装紙が並びます。

しかしその一方で、忘れてならないのは過剰包装の問題。森林資源の有効利用やゴミ問題などの環境問題を考える上で、この包装紙の過剰使用がクローズアップされています。過剰包装をやめてもっとシンプルなものにした、環境配慮型の包装紙を推進したりする動きが各所で盛んです。

エコマーク認定商品の中にも環境配慮型の包装紙がいくつかあり、他の包装紙にはない「やさしさ」が詰まっています。例えば、古紙パルプを使った「森林資源利用へのやさしさ」、人体や自然環境に悪い物質を抑えた「健康と生態系へのやさしさ」、リサイクルに支障がある物質は使わない「リサイクルへのやさしさ」など、エコマーク認定の包装紙には、原料の調達からリサイクルされるまでのあらゆる環境負荷を考えた「やさしさ」がいっぱいです。

このような包装紙のパッケージにはエコマークが表示され、店頭でも手にとることができます。この機会に、地球環境への「やさしさ」をあなたの思いとして伝えてみるのもよいかもしれませんね。



「紙関連」のエコマーク基準について

- 情報用紙Version2.2
- 印刷用紙Version2.2
- 衛生用紙Version2.2
- 文具・事務用品Version1.0
- 包装用紙Version2.0
- 紙製の包装用材Version2.0

エコマーク新作パンフレット

ワークブック
「エコマークを
みつけてみよう！」
(第6巻)
小学校高学年向け



人間の体のしくみを学ぶことで環境の大切さ、そしてその保全に寄与するエコマーク商品について第1巻から第5巻までの内容をおさらいしつつ、確認できます。第1巻から第5巻あわせて使ってください。(8.7x12.8cmのミニサイズ)

問い合わせ先：エコマーク事務局普及課まで



新感覚のエコライフ・マガジン 『FeEL』

(無料誌)最新号・発刊!

今回のテーマは「空」。普段、あまり気に留めることもなく、見落としがち「空」のコト。だけど、ふと空を見上げると、どこか懐かしく、優しい気持ちが溢れてくる。「空」と「エコ」とのステキな関係に触れてみよう。

「エコマーク商品カタログ

2005年度版」

4月に発売

エコマーク認定の全商品やグリーン購入に関する最新情報を掲載。環境配慮型の商品選びに、ぜひお役立てください。

発行 チクマ秀版社
監修 (財)日本環境協会
価格 予価1,300円(税込)
問い合わせ 03-3965-1411
(株式会社チクマ秀版社)



世界エコラベリング ネットワーク(GEN)

年次総会を日本で開催

昨年10月5日(月)～10月9日(金) 設立10年にあたる年次会員総会ならびに国際ワークショップを、東京・池袋で開催しました。6日には「第1回グリーン購入世界会議in 仙台」において世界の環境ラベルの動向に係る特別分科会を開催しました。今回はウクライナ、ラトビア、リトアニアなどの東欧諸国の団体やインドネシアやベトナムといったアジアの国々をはじめとして海外から23団体・36名が参加、GEN設立から10年間のエコラベル制度の広がりをうかがい知ることができました。また、新たにリビングプラネット(ウクライナ)と香港環境保護協会(香港)の2団体がGENに仲間入りしました。

GEN年次報告書2003年版

GEN年次報告書 英語 ができました。ご希望の方はエコマーク事務局内GEN総務事務所まで問い合わせてください。

世界のエコラベル

～GEN会員機関紹介～No.6

環境マーケティング発展プログラム

(ウクライナ)



ロゴは青い半月を背景に羽ばたく鶴をあしらっています。また、同時に鶴は緑の植物の形でもあり、共に地球の生命を表しています。建設資材、塗料・ニス、容器包装、化学製品の4分野の認定基準があります。産業界の認定への関心は高く48社の認定商品保有企業があります。消費者団体との協力を進め、消費者にもこのラベルをより広く普及していくそうです。

ホームページ作成を予定。時期未定。

設立年：2002年 性格：政府のラベル
運営主体：NGOリビングプラネット
商品類型数：4 認定商品数：57



グリーン購入 ネットワーク(GPN)

昨年10月6日(水)・7日(木)グリーン購入に関する初の世界会議「第1回グリーン購入世界会議 in 仙台」～グリーン購入の環(わ)による世界市場のグリーン化を目指して～が仙台国際センターで開催されました。世界各国の取組みや課題の共有化・ネットワーク化を目指し、世界のグリーン購入の専門家が参集したこの会議、蓋を開けてみると、予想以上の盛況で、参加者は世界37の国と地域から120人を含み延べ1000人に上りました。



会議初日に、国連環境計画(UNEP)のPer Bakken氏らの基調講演後、グリーン購入に関連する7つの分科会を行いました。それぞれの

分科会において、4～6の事例発表の後、分科会のテーマに沿った内容について会場の参加者とともにパネルディスカッション方式で掘り下げて議論しました。どの分科会会場も満員で参加者の関心の高さが伺えました。最後に、会議の成果として今後のグリーン購入の指針となる「グリーン購入仙台宣言」を発表し、国際グリーン購入ネットワーク(IGPN)の設立を組織することが明文化されました。なお、この会議において第7回グリーン購入大賞の表彰式も行われ、環境大臣賞として京都に拠点を置くNPO「環境市民」経済産業大臣大賞として「イオン(株)」が選ばれました。



仙台宣言等、詳しくはGPNのホームページをご覧ください。

「土壌汚染とリスクコミュニケーション - 環境コミュニケーション成功の鍵を考える - 」



昨年11月、土壌汚染対策セミナーが開催されました。定員を大幅に上回る申し込みで関心の高さが伺えました。土壌汚染対策法が施行されて1年半が経過し、各地で法が定めたルールに基づいて土壌汚染の調査や対策が進んできており、現在は、**土壌汚染の発見が問題となる時代から、発見された汚染の状況や対策等について社会とコミュニケーションを実施しないことが問**

題とされる時代へと移りつつあります。また、近年、「CSR(企業の社会的責任)」が問われるようになり、土壌汚染問題を解決する上で重要な**リスクコミュニケーション**を成功させるための鍵は何かをテーマに、本セミナーが開催されたものです。環境省から土壌汚染の現状・対策法の概要等の報告の後、土壌汚染問題に関わる**説明を受ける側、説明する側、行政の立場**から4名の講師に講演していただきました。

今回のセミナー参加者486名のうち8割が企業の方であり、高い関心を背景に会場から各講師に対し、活発な質問が出されました。本セミナーを通じ、土壌汚染問題を解決する上で、リスクコミュニケーションの重要性の理解が進められ、その円滑な進め方へのヒントとなったように思われます。

リスクコミュニケーションとは

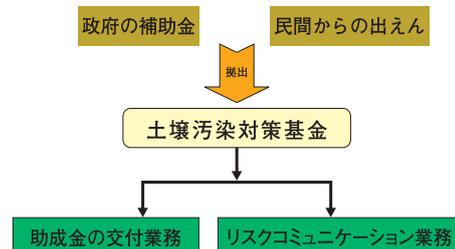
環境省が平成16年7月に公表した「自治体職員のための土壌汚染に関するリスクコミュニケーションガイドライン(案)」では「住民、事業者、自治体といった全ての利害関係者がリスク等に関する情報を共有し、相互に意思疎通を図って土壌汚染対策を円滑に進めていくための手段」としています。

土壌汚染対策基金の仕組み

本セミナーは、土壌汚染対策基金の事業の一環として開催されました。土壌汚染対策基金とは、土壌汚染対策法により設けられた基金で、政府からの補助金と政府以外の者からの出えんにより造成されます。基金への出えん方法は、一つが**土壌汚染事業に関わる方からの出えん**であり、もう一つが**基金事業に賛同される方々からの寄附**です。出えんいただいた企業の名称は指定支援法人のHPに掲載され、土壌調査をしようとする土地の所有者等が土壌調査・修復事業の実績がある企業として検討する材料になります。

当基金では、支援業務として、助成金の交付業務と、リスクコミュニケーション業務を行っています。これらを進めるためにも、皆様方の土壌汚染対策基金への御理解、御協力をお願いいたします。

土壌汚染対策基金の仕組み



日 時：2004年11月25日(木)
場 所：経団連ホール(東京大手町)
主 催：環境省・(財)日本環境協会
後 援：(社)日本経済団体連合会
(社)土壌環境センター

開会挨拶 (財)日本環境協会 理事長 加藤 陸美

【特別報告】土壌汚染対策の状況について
環境省 水環境部部長 甲村 謙友

【講 演】土壌汚染が明らかになった段階で最初
にすべきこと 情報開示 - 住民が理解しやすい説明
の方法とタイミングについて -
弁護士 佐藤 泉氏

【講 演】土壌環境問題とリスクコミュニケーション
- リスクコミュニケーション事例 -
清水建設(株) 土壌環境本部長 近藤 司氏

【講 演】リスクコミュニケーションの事例
- 供用後の集合住宅で判明した土壌汚染の事例 -
- 飲み水として利用されている地下水の汚染事例 -
国際航業(株) 地盤環境エンジニアリング事業部長
前川 統一郎氏

【講 演】行政としてのリスクコミュニケーション
のあり方
愛知県 環境部廃棄物対策監 坂部 孝夫氏

指定支援法人の業務について
(財)日本環境協会 専務理事 斉藤 照夫



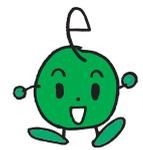
こどもエコクラブ

10年目イベント

GO! ^み美^らく^るリサイクル [☆] ~こどもエコクラブ大作戦~

こどもエコクラブ誕生10年目を記念して、昨年10月に全国一斉環境活動を行いました。全国の319クラブ、4221人のメンバー、771人もものサポーターが参加、資源ごみ集め等に取り組みました。

この活動は単なる清掃活動ではなく、地域によるごみ分別・資源化の方法の差異や循環型社会について考えるきっかけを与えるものです。資源ごみを集めた数や活動の感想等をレポートにまとめました。クラブによっては、資源ごみマップ作りやリサイクル調査



等に発展させています。参加したメンバーから、「ごみを減らす看板を作りたい」、「集めたごみのゆくえを勉強したい」などの感想がありました。こどもエコクラブのパワーと環境活動の大切さを多くの人たちにアピールしました。

こどもエコクラブ全国フェスティバル in みはま・はんだ

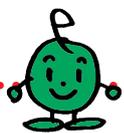


平成16年度の全国フェスティバルが3月26日(土)、27日(日)に行われます。これは、年一度、全国のこどもエコクラブの関係者が一堂に会して交流を深めるとともに、こどもエコクラブ事業をはじめとする環境保全活動の定着拡大を目的としたフェスティバルです。両日とも、こどもエコクラブが一年の活動をまとめた壁新聞を展示する他、26日は美浜町でイルカやアシカなど生きものとのふれあい体験、27日は半田市で楽しみながら環境について考えることができるエコ体験ラリー等を予定しています。是非参加してください。



昨年度の全国フェスティバルの様子

日程：2005年3月26日(土)、27日(日)
会場：26日 南知多ビーチランド(愛知県美浜町)
27日 半田市福祉文化会館(愛知県半田市)
主催：環境省、愛知県、半田市、美浜町、
(財)日本環境協会
協賛：トヨタ自動車(株)、松下電器産業(株)、三井物産(株)、日本テトラパック(株)ほか



活動紹介

~NO.4

大津市 環境保全課 ^{くにまつ} 國松 ^{しほ} 志帆さん

~こどもエコクラブコーディネーターの紹介~

*こどもエコクラブコーディネーターとは
市区町村及び都道府県のこどもエコクラブ担当者のことです。



- 地域の大人をまきこみ、こどもエコクラブを自らが楽しむ -

大津市では、コーディネーター自らがプログラム提供をしたり、企画運営をするこどもエコクラブ「大津こども環境探偵団」があります。

琵琶湖、比叡山、里山など豊かな自然をフィールドに、身近な自然を「探偵」し、講師として地元の方や大人の方、コーディネーターも参加します。活動を通して、子どもたちが「来年もこの活動をしたい」「将来サポーターになりたい」と言ってくれるのが嬉しく、なにより自分たち職員が楽しんでこの活動に取り組んでいるのが長く続いている理由だと思っています。

小学生からメンバーだった子どもたちが現在、高校生、大学生になってサポーターとして活動しています。今後も未来の環境リーダーが育つよう支援していきたいと思っています。

これをきっかけに取り組みを始めよう！

1997年12月、京都。世界186カ国は気候変動枠組条約の第3回締約国会議（COP3）で、産みの苦しみを経て「京都議定書」を採択しました。EU、日本などに加え、昨年にはロシアが批准したことにより、2005年2月16日、京都議定書はいよいよ発効することになりました。地球温暖化は、最も深刻な環境問題の一つです。解決のために世界中の国々が**一緒に踏み出す第一歩**がこの京都議定書です。

京都議定書では何を決めているの？

京都議定書は、温室効果ガスをたくさん出している国（いわゆる先進国）がその排出量を減らすよう求めています（第一約束期間の2008～2012年の5年間に先進国全体で1990年の排出量から5.2%削減）。日本は**6%減らすことを約束**していますが、2003年時点で日本が温室効果ガスを出している量は、1990年時点よりすでに8%も増えています（中央環境審議会地球環境部会第24回会合資料2）。つまり日本が「マイナス6%」を達成するには、今出している量から**さらに14%減らさなければなりません**。

どうして地球温暖化が進んでいるの？

私たちが家庭で電化製品や自動車を使うときだけでなく、生活に欠かせない様々な製品や電気、ガス、水道水など、ありとあらゆるものが作られる**“過程”**で二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスが出ています。温室効果ガスの排出の増加が地球温暖化を進めています。

毎日天気を見つめる気象予報士の村山貢司氏は「地球の長い歴史において、過去見られなかった変化が起こっている。日本は地球温暖化によって**水や食糧に深刻な影響**がでる。それは50年、100年後の話ではなく、**あなたが生きている間に起こる**（ストップおんだん館イベントより）だろう。」と話しています。できることはたくさんあります。京都議定書をきっかけに、個人、学校、会社、地域社会で、今すぐできることを始めませんか？



村山 貢司氏
（ストップおんだん館イベントより）

今すぐできる地球温暖化対策その1
家族みんなで同じ部屋で団らんしましょう！
別々の部屋で過ごす、冷暖房も照明も余計に使うこととなります。

世帯あたり / 1年

削減：二酸化炭素240kg、節約：11,000円

COP10

温暖化防止のブエノスアイレス会議
最新情報がここにある！

2004年12月6～17日にかけて、ブエノスアイレス（アルゼンチン）で、気候変動枠組条約の第10回締約国会議（COP10）が開催されました。会議では京都議定書の発効を祝うとともに、議定書の実施に必要なルールを話し合いました。また第1約束期間（2008～2012年）以降の対策を議論する準備が進められました。

会議の様子と決められた事項について、現地から発信した最新情報「ネゴシエーションアップデート」で伝えています。

<http://www.jccca.org/cop/10/index.html>

センター代表から

京都議定書をまとめるのは、実に変な苦労を要しました。徹夜までした長時間の話し合いの結果が実って京都議定書がまとまったときは、みんなで肩を抱き合って喜びました。これも「地球温暖化は人類全体にとって大変な問題だ」との意見で各国が一致したからこそなしたことと言えるでしょう。

発効まで7年という長い時間がかかったものの、日本で生まれた京都議定書の約束を守るにはみなさん一人ひとりの協力が必要です。できることから、とにかく「始める」ことが重要でしょう。



全国地球温暖化防止活動推進センター

代表 大木 浩

（元環境大臣、温暖化防止京都会議議長）

全国地球温暖化防止活動推進センター（JCCCA）

ストップおんだん館

2004年12月末現在入館者数 6,800人突破！

楽しいイベント開催中

様々なゲストを招き、食、酒、料理など、身近な視点から地球温暖化を考えるための最新情報を伝えています。開催日など詳細はホームページで。

予約プログラム実施中

修学旅行や校外学習、企業研修などを受け付けています。プログラムの実例や流れなどの詳細はホームページをご覧ください。

春休みイベントが行なわれます

子どもから大人まで楽しめるイベントを企画中です。詳細はホームページで発表します。



奥はフィジー大使

我が家の環境大臣

新事業がはじまります

環境にやさしい取組をする家族を大募集する「我が家の環境大臣」事業が始まりました。中心になって取り組む人を「我が家の環境大臣」として登録、気軽にできるエコチャレンジへの挑戦や、自分たちのお勧めエコライフアイデアを全国に向けて提案するなど、楽しくエコライフを実践することができます。登録、情報提供、取組の記録は全てインターネットを通じて行います。ぜひ「我が家の環境大臣」サイトをご覧ください。誰でもすぐに参加できます！多くの方の登録を待っています。

URL <http://ecofamily.goo.ne.jp>



スターウォッチング・ネットワーク

夜空の明るさを調べてみよう

スターウォッチング・ネットワークでは、一般参加団体による**星空の写真撮影を再開**しました。

天頂付近の星空を撮影したカラーライド写真から「夜空の明るさ」を求めるものです。測定結果の値が大きければ夜空は暗く、星がきれいに見える状態にあります。平成13年度冬期観察を最後に星空の写真撮影を取り止めていましたが、多くの参加団体から再開を希望する声が寄せられたこと、今後継続して天空輝度を測定する見通しがたったことから昨年の夏期の観察より再開することとなりました。

ぜひ、この機会にみなさんの街の夜空がどのくらい明るいかが調べてみませんか。

次回、夏の観察は7月27日(水)~8月9日(火)です。スターウォッチング・ネットワークの詳細についてはホームページをご覧ください。

藤本倫子環境保全活動助成基金

助成申請を受け付けています！

藤本倫子環境保全活動助成基金では、平成17年度第1回助成を希望する団体・個人を対象に1月5日(水)~2月14日(月)までの間募集しています。募集要項、申請用書類等はホームページからダウンロードできます。郵送を希望される場合は200円切手を貼った返信用封筒(角型2号)を同封の上、当協会内、藤本基金運営管理委員会事務局宛、送ってください。なお、個人の場合は、環境カウンセラーで、環境教育や地域の環境保全活動などを積極的に実践している方に限ります。



地球環境パートナーシッププラザ(GEIC)

ミニGEIC@エコプロダクツ展



サステナブルな未来をパートナーシップで作ろう・エコプロダクツ2004

地球環境パートナーシッププラザ(GEIC)では、昨年12月9日(木)~11日(土)に東京ビッグサイトで開催された「エコプロダクツ2004」に初めてブース出展し、プレゼンテーションの機会を得ました。

3日間で約12万5千人(主催者発表)の来場者があり、NPO/NGOのブースも充実、単なる商品展示会にとどまらず、オルタナティブな生活スタイルを積極的に提案するNPO/NGOが増えていたようです。プレゼンテーションでは企業とNPOとの協働5事例を紹介し、ブースではNPOライブラリーとパートナーシップ相談コーナーを中心とした「ミニGEIC」を展開、この機会に80の環境NPOに協力してもらい200冊の図書・報告書を展示、注文方法を記したブックカタログも配布しました。また、相談コーナーでは、脆弱な資金調達ルートに悩む熊本のNPOや環境への取組が後発となりNPOとの協働に突破口を模索する企業からも、相談を受けました。NPOとの協働事業に関心を寄せる企業は急速に増えつつある一方、他者と手を組んで事業を実施することは、敷居が高いと感じる企業も少なくありません。パートナーシップに取り組む現場の多くの方々と出会えた今回の「ご縁」を事業展開に生かしていきたいと思っています。

「NPOブックカタログ」はホームページからダウンロードできます。<http://www.geic.or.jp/geic/news>

エコマークのホームページをリニューアルします!!

エコマーク事務局のホームページが6年ぶりにリニューアルされます。
ユーザーの目線にあった情報満載のコンテンツ。
近日中に公開につき、乞うご期待。
<http://www.ecomark.jp>



環境カウンセラー

環境カウンセラーとは?

環境に関する様々な専門知識を持ち、環境に関するアドバイスを行うことのできる人材です。環境省の審査を経て3,609名(事業者部門: 2161名、市民部門: 1448名)(平成17年1月現在)が登録し、全国で様々な活動を行っています。

環境カウンセラー活動紹介 ~NO.8

嫁が島に歩いて渡ろう2004



2004/8/8

*NPO法人まちづくりネットワーク島根 <http://www.merit-inc.com/machinet/>
問合せ先 担当: 柏井 TEL0852-20-1821 E-mail: machinet@merit-inc.com

私たちの住む地域のまちづくりを考えようと、平成11年に「まちづくりネットワーク島根」として活動を開始し、平成13年から毎年宍道湖の夕景を生かしたまちづくりを考えるイベント「嫁が島に歩いて渡ろう」を開催しています。今年は老若男女を問わず250名が参加、湖岸から嫁が島まで歩いて渡りました。嫁が島は宍道湖の東岸200m沖に浮かぶ小さな島、夕日が沈む景観の中にはなくてはならない美しい島です。参加者は、首まで浸かりながら湖水の濁り・匂い・水温・塩分・ゴミなどを体感します。眺めるだけでは想像できないようなこれらの五感体験は、市民が宍道湖の環境や景観の大切さを知るきっかけになったと思われます。

子ども環境相談室

子ども環境相談室には、子どもたちから、礼状や2回目の相談がたくさん寄せられます。1例として、大気汚染レポートを送ってくれた森田詠美さん(中学生)の手紙を紹介しします。(右)

*森田さんのレポートは当相談室のホームページに掲載しています。



(イラストも森田さん)

注: ホームページ上のレポートレイアウトなどは当協会が整理しています。

私は、学校の総合学習で大気汚染について調べたことをきっかけに、環境にとっても興味を持つようになりました。そして、冬休みに環境をテーマにした課題が出たので、また大気汚染をより詳しく調べようと思ったのです。冬休みという短期間の中、研究に燃えていた私。しかし、前回よりも難易度の高い挑戦にひとり行き詰っていました。そんなとき、心強い支えとなってくれたのが「日本環境協会子ども環境相談室」でした。担当の方がとても親切に協力してくださって、調査もスムーズに正確にできて、ホームページに公開する機会もいただきました。本当に心から感謝しています!たくさんの星がどこでも見られるようなきれいな空にしたいです。

編集・発行 / 財団法人日本環境協会 URL: <http://www.jeas.or.jp> e-mail: jea@japan.email.ne.jp

麻布台オフィス 〒106-0041 東京都港区麻布台 1-11-9 プライム神谷町ビル2F

| | | |
|-----------------------------|------------------|------------------|
| (協会) | TEL.03-5114-1251 | FAX.03-5114-1250 |
| (エコマーク事務局 認証課) | TEL.03-5114-1253 | FAX.03-5114-1257 |
| (エコマーク事務局 基準課、普及課、国際協力課) | TEL.03-5114-1255 | FAX.03-5114-1257 |
| (全国地球温暖化防止活動推進センター (JCCCA)) | TEL.03-5114-1281 | FAX.03-5114-1283 |
| (子ども環境相談室) | TEL.03-5114-1258 | FAX.03-5114-1250 |

青山オフィス 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-67 コスモス青山B2F

| | | |
|-------------------------|------------------|------------------|
| (グリーン購入ネットワーク事務局 (GPN)) | TEL.03-3406-5155 | FAX.03-3406-5190 |
|-------------------------|------------------|------------------|

地球環境パートナーシップ 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-70 国連大学ビル1F

| | | |
|--------|------------------|------------------|
| (GEIC) | TEL.03-3407-8107 | FAX.03-3407-8164 |
|--------|------------------|------------------|

プラザ



エコマークは
財団法人日本環境協会の
登録商標です。